

技能試験用中型乗用自動車仕様書

1 仕様総説

本仕様は、発注者（広島県）を「甲」とし、受注者のうち、リース会社を「乙」、保守会社を「丙」とする。

車両は、広島県警察において運転免許技能試験用に使用するものであって、道路交通法施行規則第 24 条第 6 項・運転免許技能試験実施基準に適合した車両としこの仕様書に示す諸装置を備え、構造堅ろうで性能良好のものとし、かつ、道路運送車両法の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）に違反しない構造とすること。

2 借入物品及び数量

技能試験用中型乗用自動車（マイクロ・A T 仕様車） 1 台

3 納入期限

令和 8 年 3 月 30 日

詳細なスケジュールは、甲と別途協議すること。

4 納入場所

広島市佐伯区石内南 3 丁目 1 番 1 号 広島県運転免許センター

5 提出書類

- (1) 製造・改造・納入までの計画書
- (2) 車両の仕様書（各改造項目等の取扱説明書を含む。）
- (3) その他、甲が必要とする書類

6 納入の注意事項

- (1) 車両及び施設等の損傷、破損等が生じないように注意し、万一事故等が発生した場合は、乙において弁償すること。
- (2) 乙は、当該施設の担当職員に対し、車両の取り扱い等、業務を遂行するうえでの必要事項を文書及び口頭において通知すること。
- (3) その他、甲が必要とする書類

7 仕様の内容

(1) 車両の基準

ア 乗車定員 11 人以上 29 人以下のバス型の中型自動車であること。

イ 全長 6.50 メートル以上、11.00 メートル以下

ウ 全幅 2.00 メートル以上、2.50 メートル以下

エ 軸距 3.80 メートル以上、5.35 メートル以下

オ 室内左前部に試験官用座席を設置したもの。

カ 試験官用補助ブレーキ、補助ミラーを有するものであること。

キ 試験官用スピードメーター、ウインカーパイロットランプなどを設置したもの。

ク 乗降口は車体中央部付近に設置したもので、手動開閉であること。

(2) 車台及び車体

ア A T 機構がとられており、クラッチ操作装置を有しないこと。

イ 取付部品等の材質

- (ア) 部品は、特に指定するものを除き、純正部品を使用すること。
- (イ) 衝撃、曲がり、ねじれ等を考慮し堅ろうな部品を使用すること。
- (ウ) 改造に当たっては、雨水の漏水しない構造とすること。

ウ 車体内部の構造

座席は、ビニールレザー製とすること。

(3) 諸装置

ア 試験官席

リクライニング式座席であること。

イ 試験官用の補助ブレーキを試験官席右足前に取り付けること。

ウ 試験官用足かけ（フットレスト）を取り付けること。

エ 試験官確認用補助速度計を取り付けること。（視認性がよい位置とする）

オ 各確認装置（方向指示器・フットブレーキ・サイドブレーキ・エンスト）の各パイロットランプ、ホーンスイッチ及び切るスイッチを試験官席前に取り付けること。

カ エアコン（冷暖房）は標準仕様の物を取り付けること。

（エアコンの操作は、試験官席からできること。）

キ 試験官用サイドミラー及びアンダーミラー（右左前輪接地面及びその後方が視認できるよう取り付けること。）及び試験官用ルームミラーを取り付けること。

ク アイミラー（試験官から運転席受験者の目線を確認できるもの）を取り付けること。

ケ サンバイザーを取り付けること。

コ バックアイカメラ・乗降口確認カメラ及びモニターを取り付けること。
（試験官から視認確認できること）

サ 後方用確認用モニターを取り付けること。

(4) 装備品及び付属品

ア 下記の仕様による試験車表示板を取り付けること。（後面、左右面の4カ所）

イ 車体の形状に応じて、例1及び例2を使用すること。

例1

例2

運 転 免 許
試 験 中

運 転 免 許 試 験 中

(ア) 「運転免許試験中」の文字の大きさ

運転免許 ～ 一辺の長さ 10センチメートル

試験中 ～ 一辺の長さ 20センチメートル

(イ) 文字色等

下地 ～ 白色

文字色 ～ 黒色

(ウ) 表示板の材質

金属製板若しくはアクリル板

(エ) 取付方法

車体に金属製枠を取付、差し込み式とする。

ウ	スペアタイヤ（ホイール付き）	1 本
エ	冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ、ホイール付き）	1 式
オ	停止表示板	1 個
カ	標準工具	1 式
キ	取扱説明書	1 部

8 車体色

別途指示

9 リース期間

車両のリース期間及びリースに関する整備は、6 年 11 か月とする。

契約走行距離は、月間約 1,000 km とする。

10 整備等

甲が車両を最良の状態を使用するため、乙は、次の整備を行うものとする。

- (1) 車両故障の際は、緊急に対応すること。
- (2) 法に定める点検整備を行い、車体検査を受け、その際に定期点検整備（エンジンブレーキ、クラッチ、油圧装置、各オイル類、燈火類、冷却水）を実施すること。
なお、車両は、甲が直接搬入をするので詳細は別途協議すること。
- (3) タイヤ交換は、必要に応じてローテーションし、摩耗の程度に応じて新品と交換すること。
- (4) 冬季は必要に応じて冬用タイヤに交換するものし、摩耗等必要に応じて新品と交換すること。
- (5) バッテリーは、消耗の程度に応じて、必要の都度新品に交換すること。
- (6) エンジンオイル及びオイルエレメントは、車両の仕様に基づき、必要の都度交換すること。
- (7) 燃料以外に走行時に消費される消耗品があれば、毎点検時に必要に応じて補給すること。
- (8) 一般消耗品は、故障の発生若しくは予想される場合は、その都度交換すること。
- (9) 点検整備に伴う消耗品類（タイヤ、冬用タイヤ、バッテリー及びオイル類等）については、乙又は丙の負担とする。
- (10) 甲の故意又は重大な過失によって必要となった点検、整備、修理は、甲の負担とする。

11 税金、保険料等の負担

自動車車体検査、整備費用、自動車重量税、自動車税、自動車損害賠償責任保険料及び自動車リサイクル法に基づくリサイクル料金は、乙が負担すること。

12 その他

この仕様書についての照会は、広島県警察本部交通部運転免許課技能試験第 1 係に行うこと。〔TEL082-228-0110 内線 703-263〕